

すくすくみどり

No.14 芝生大好き！



この冊子は、緑と地球環境保護のため古紙100%の再生紙と大豆インキを使用しています。

編集・発行 財団法人札幌市公園緑化協会

〒060-0051 札幌市中央区南1条東2丁目 南1条タカハビル2階

電話 011-211-2579

<http://www.sapporo-park.or.jp/>

財団法人札幌市公園緑化協会



この小冊子の内容をもっと詳しくお知りになりたい方、または他の植物の育て方などについてお知りになりたい方は、16ページの「緑の相談」をご利用ください。専門の相談員があなたのご質問にお答えします。

植物の栽培はいろいろな方法があります。この冊子の内容につきましても、ひとつの目安としてご利用ください。

目次

● はじめに	P2
● 第13回緑と花のフォトコンテスト グランプリ作品	P3
● 第35回緑の絵コンクール 大賞作品	P4~5
■ 芝生の種類と特性 ・寒地向き西洋芝	P6~7
■ 芝生の造成 ・芝生の適地 ・播種(タネまき)からつくる芝生	P8~9 ・床づくり ・張り芝
■ 芝生の維持管理 ・芝刈り ・肥料やり ・除草	P10~11 ・エアレーションと目土 ・水やり ・病虫害防除
■ 栽培ごよみ ・春 ・夏 ・秋	P12~13
■ 芝生の部分枯れ補修 ・補修の作業手順	P14~15 ・補修の方法
● 緑の相談	P16
● グリーンデータバンク	P17
● 札幌市都市緑化基金	P18~20

はじめに

植物は私たちの目を楽しませ、心身をリラックスさせてくれます。特に冬の長い北国では花や緑が貴重ですし、四季や室内・戸外を問わずに鮮やかな花と緑があるとそれだけでホッとしたり、華やかで豪華な雰囲気演出してくれたりします。

この冊子は、こうした花と緑の中でも、芝生の育て方にポイントをしばって解説しています。

もちろん書店でもこうしたテーマの本が多く出回っています。しかし、本州、特に関東地方を標準としたものでは、札幌と気候条件が大きく異なるため、解説されている栽培方法に無理があったり、時として全く逆のことが解説されていたりします。

四季だけをとても長く寒い冬、遅く短い春、梅雨のないさわやかな初夏、涼しく夜温の下がる夏、短い秋など、本州と札幌では気候が大きく異なります。

一見、寒い冬の問題などから、北国は園芸にとって不利であるかのように思われがちですが、本州方面では栽培が難しい夏の暑さやムシに弱い植物でも、札幌では元気に育ったり、花や葉の発色が鮮やかであったりします。

この冊子では、北国札幌で植物を扱う上での特徴や優位性、楽しさなどを紹介し、花と緑にふれあう環境づくりに役立てていただくことを願って作成しています。

なお、この冊子作成に当たりましては、皆様からいただいた募金（札幌市都市緑化基金）の果実（利子）を使わせていただいております。

紙面で失礼ではございますが、ご協力をいただいた皆様への感謝とともに、さらなる札幌市都市緑化基金積立へのご協力をお願い申し上げます。



第13回（平成13年度）緑と花のフォトコンテスト
グランプリ作品

「カップル」

池野 紀男さん（札幌市北区在住）

第13回緑と花のフォトコンテストには、四ツ切部門に56名143点、サービスサイズ部門に55名160点、計111名303点の力作が寄せられました。

第14回緑と花のフォトコンテストも、札幌市内の公園や緑地での花や緑、自然とのふれあいなどをテーマとして皆様からのステキな作品、ほのぼのとした楽しい作品を募集しています。（メ切平成14年8月末日）



第35回（平成13年度）緑の絵コンクール

大賞作品

石川 惟子さん（札幌市立西野中学校 2年生）

第35回緑の絵コンクールは小学校から18校649点、中学校から17校768点、計1,417点の応募があり、小学生の中から川越充さん、中学生の中から石川惟子さんの作品を大賞作品として選考しました。



第35回（平成13年度）緑の絵コンクール

大賞作品

川越 充さん（札幌市立琴似中央小学校 6年生）

緑の絵コンクールは、毎年、札幌市内の小中学生を対象として札幌市環境局緑化推進部と財団法人札幌市公園緑化協会の共催で実施しています。

芝生の種類と特性

美しい緑色の芝生が生えそろった庭は明るく優しい雰囲気を出し、庭の草花や樹木をいっそう引き立ててくれます。

広い公園の芝生では、寝ころんだり、裸足で駆け回ったり、シートを広げて食事ができるなど、かけがえのないスペースを私たちに提供しています。



またスポーツで使われる芝生フィールドは、競技者が転倒したときの怪我や恒常的な身体への負担を軽減するなどのたらさをしています。

このほか芝生には防塵、夏の暑い照り返しの抑制、酸素の供給と大気の浄化など、環境を調節する役割もあり、約50㎡(畳31枚・15坪ほど)の芝生で人間1人分の酸素をつくりだすともいわれています。

芝はイネ科の多年草植物で、刈られても刈られてもくじけずに伸びる性質をもっているのです、刈らないでいるとぐんぐん伸び続けます。しかし、伸び放題ではせっかくの芝生も見た目に美しくありませんし、蒸れて病気にもかかりやすくなってしまいます。

美しい芝生づくりは簡単にはできませんが、決して難しいことはありません。芝生づくりのポイントや手入れのコツをつかんで、緑が美しく映える芝生をつくってみませんか。



芝は暖地向きと寒地向きの二種類に大別できます。

暖地向き芝生は、夏は緑で、冬は褐色に枯れる(休眠する)種類で、本州のノシバやコウライシバ、ビロードシバ、ティフトンシバなどです。これらの多くは栽培適温が25~35℃と高いので、一般に北海道のような寒地には向きません。

寒地向き芝生は冬でも枯れず緑を保つ種類で、ブルーグラス類やベントグラス類、フェスク類、ライグラス類などの西洋芝です。これらは冬の寒さには強い反面、暑さには弱いので本州のような高温多湿が続く地域では栽培に適しません。

北海道で用いられている芝生は、寒地向き西洋芝のブルーグラス類とベントグラス類がほとんどです。ブルーグラス類の中ではケンタッキーブルーグラスが代表的な種類で、品種も多いうえ耐病性や踏圧にも強く、特に耐寒性と回復性に優れています。



寒地向き西洋芝

種類	利用特性
ブルーグラス類	代表種ケンタッキーブルーグラスは、地下茎で旺盛に繁殖し地表を密に覆い、ややかためで美しい濃緑色の葉が特徴です。一般家庭をはじめ、公園やゴルフ場、サッカー場など様々な分野で使われています。
ベントグラス類	葉が細かく柔軟で最も美しい芝といわれています。低く刈り込むことに強く、ゴルフ場のパッティンググリーンに使われます。ブルーグラス類と比べるとやや病気に弱く、維持管理の手間も大きいようです。
フェスク類	広葉系のツールフェスクは道路の法面など、細葉系はゴルフ場などで使われ、耐陰性が強く、かなりの日陰にも耐えます。葉はやや粗剛で野性味があります。
ライグラス類	ペレニアルライグラス(多年性)などがあり、サッカー場のフィールドでよく使われます。



芝生の造成

造成時期は春の5月中旬からと9月上旬からの年2回が適期ですが、やはり春がよりよいでしょう。

芝生の適地

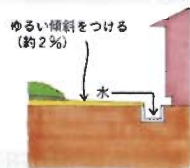
- ① 風通しと日当たりがよいこと（1日4～5時間の直射日光が最低限必要）
芝は日が当たるほど光合成が活発になり、炭水化物が多くなります。その結果、密で丈夫な芝になります。日陰になると光合成が弱まり、栄養や水分とのバランスを失い徒長し、踏圧に弱く病気にもかかりやすくなってしまいます。
- ② 通気性、保水性、排水性がよいこと
- ③ 肥料分をよく含み有機質に富んでいること
- ④ 頑固な宿根雑草が生えていないこと
- ⑤ 弱酸性から中性土壌であること
- ⑥ 水やりしやすい場所であること



床づくり

美しい芝生を長く保つためには、日ごろの手入れはもちろん、よい下地をつくることがなりよりも大切なので、造成時に土地をよく耕し、土壌改良資材などを適量施しましょう。美しい芝生をつくるには、床づくりがまず最初で、種をまくか張り芝をするかはその後の作業です。粘土質やカレキ地の場合は畑土を盛る必要があり、火山灰土なら堆肥が必要です。

芝生を造成するときは、窪地上にせず表面排水がとれるように2%以上の傾斜をつけます。（本来的には暗きょ排水が好ましいでしょう。）



- ① 芝生造成予定地の石ころや雑草を取り除きます。
- ② 耕す前に、3.3㎡(1坪)あたり下表の土壌改良材の半分を地表へ平均に散布します。

<例> 有機物(牛糞堆肥)、腐熟堆肥、ピートモスなど混合物:30～45%
 熔成リン肥:700g 芝生用肥料:300g 有機石灰:600g



- ③ スコップで耕し、残りの土壌改良材を散布し、レーキなどで十分混ぜ込んで平らにならします。
- ④ ほぼ平らになったら、厚さ3cmくらいの板で土羽板を作り、強くたたいて鎮圧します。（広い板を敷いて、その上から踏んでも可。）



播種(タネまき)からつくる芝生

一般的には北海道の気候に適したケンタッキーブルーグラスが最適で、品種も耐寒性、耐病性に優れ、葉の色も濃緑で鮮やかな芝生になるものが多く出ています。

タネまきは混種の方が芝生の仕上がりに間違いが少ないようです。

混合する場合の割合(例)

ケンタッキーブルーグラス 70～80% ペレニアルライグラス 10～15% トールフェスク 10～15%

タネまきの適期は春です。天候の見通しを立てて無風の日を選びましょう。

タネをまく量は1㎡当たり20～30gが標準ですが、やや多めに(2～3割)まくのが無難でしょう。少量のタネを広い面積に均等にまくには、タネの約5倍の乾いた土か砂に混ぜて増量したものをまくとカンタンです。

- ① 初めに全体量の半分のタネを、フルイに通しながらまきます。
- ② レーキを縦横にかけて、残りのタネをまき再びレーキをかけます。（覆土する場合は1～2mm程度にとどめます。）
- ③ 土羽板で鎮圧し種子の飛散を防ぎます。
- ④ 芝のタネは湿った状態が維持されると発芽するので、まいた後に十分に水を与えます。一週間程度は表面が乾かないように水やりをします。
- ⑤ 乾燥を防ぎ発芽率を高めるため寒冷紗をかけ、発芽後にはずします。
- ⑥ その後、ときどき水やりをして、芝が5～6cmほどに伸びたら刈り込みます。



張り芝

張り芝の床づくりは、整地、鎮圧まで種まきの場合と同じ作業をします。

張り芝は市販のロール状にまいたものを端から順に芝と芝を密着して詰め張り(ベタ張り)をします。張り終わったら床土に浸みるようにたっぷりと水やりをして、土羽板で叩いて芝と床土を密着させます。その後2ヶ月乾燥に注意しながら養生します。



- ① 土壌改良資材などを散布して土を耕しレーキで均します。
- ② 縁石の端から順に詰め張りします。
- ③ 張り終わったら、たっぷり水やりをします。
- ④ 水やり後、芝根が床土面に密着するように土羽板でたたいて鎮圧します。



芝生の維持管理

芝刈り 「伸びたら刈る」の繰り返し

芝生を美しく保つためには芝刈りが不可欠です。西洋芝は成長が早いので、定期的な刈り込みを怠ると芝が伸びすぎて雑草のようになり、下部が蒸れて黄変し、雑草や病虫害をまねく原因にもなります。また芝は刈り込むことで、茎葉に刺激を与えて密度の高い均質な芝生になります。

西洋芝はあまり短く刈らず、草丈が5～6cmに伸びたら3cmに刈るなど、7～10日に1回を目途に刈り込み回数を多くします。そうすることによって雑草も生えにくくなります。また芝は刈り高の限度を越えた低刈りを続けると芝生が薄くなり、雑草の発生を招くなどの弊害があるので注意しましょう。（通常はあまり低く刈らず、草丈の1/2から1/3程度とするのがよいでしょう。）

刈り取った草を放っておくと病気や根腐れの原因にもなるので、ローンレーキやくまでなどできれいに取り除きます。



月別の刈り込み回数						
月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
回	2	4	3	3	3	1

<草刈りに必要な道具>

ある程度の広いスペース …… 手押しモアや電動のローンモア
狭いスペースなど …… 芝刈りばさみやかま
芝生の縁 …… エッジ切りやかま

注: リールモアは草丈が高い場合に刈り残しができてしまいます。

エアレーションと目土

芝生は造成から3年ほどで土が固くしまったり根が絡み合うなどして、土中の通気が悪くなります。そこで芝の生育を回復させ、その生育環境を改善するために行うのがエアレーションです。エアレーションは芝の地下茎や根を切り、新しい根の促進と、通気性や水はけをよくするために行います。1～2年に1回、春か秋に、芝刈り直後にローンスパイクやローンパンチで縦横10cm、深さ5～10cmの穴をあけます。（降雨後、水がひかないような状態であればエアレーションを行いましょう。）

芝の葉が隠れない程度に土を薄くまくことを目土といいます。芝生の根の老化防止と凹凸を直すために、春と秋に2～4mmくらいの厚さに目土を入れて、新根の発生を促します。用土は市販品をぐくうすく均一に散布するのが簡単です。



肥料やり

西洋芝のケンタッキーブルーグラスは生育が旺盛なので月1回、年間5～6回の施肥をします。1回の施肥量は、芝生用化成肥料（N8-P8-K12）を1㎡当たり30g程度を均一に散布します。融雪直後と高温期の7～8月はやや少なめに与えます。

施肥は刈り取り後に行い、施肥後に散水します。9月中旬からの施肥は越冬に備えて、リン酸分とカリ分を多く含む化成肥料をやや多めに与えます。晩秋にチッソ分を多用すると植物の体内の炭水化物を減らし、C/N率（炭素率）が下がる結果、耐寒性を弱めることになるのでさけます。



月別施肥量（1㎡当たり）						
月	4/中～下旬	5月下旬	6月下旬	7月下旬	8月下旬	9月
グラム	20	30	30	20	30	30

水やり

過度の水やりは根の発育を弱め、また病気の原因にもなります。5月から9月まで干天が続くようなときは根にたっぷりしみ込むように水やりします。表面が塗れる程度の水やりは、水やりの回数を多くしても、地表部がすぐに乾いてしまいます。これでは根が水分を求めて浅い部分にしか伸びず、さらに乾燥に弱くなってしまいますのでさけます。また芝生にいつまでも足跡が残ったり、芝生が黒っぽくなったりするのは水ががれの注意信号です。

病気予防のため、夏場の水やりは特に午前中の早い時間帯に行いましょう。



除草 早めの除草が美しい芝生を保つ

芝生に雑草はつきもののようですが、放っておくと美観をそこなうだけでなく芝が負かされてしまうので、こまめに早めの除草をし、芝生の力をおとさないようにします。芝生の生育がよいところには雑草はあまり生えません。逆に生育の悪い芝生には勢いよく育ってきます。雪解け直後にタンポポ、オオバコ、クローバなどの越冬宿根雑草の抜き取りから始まり、5月からは一年生雑草もはびこり始めるので見つけ次第抜き取ります。除草剤を使う方法もありますが、庭木を枯らしたり、草花に影響することもあるのであまりすすめられません。使う場合は薬剤の方法と注意を守り、低毒性で残留しないものを選びましょう。



病虫害防除 よく手入れされた芝生は病気に強い

天候がよく、刈り込みや追肥などの管理を手抜きしていなければ、病気の心配はあまりありません。しかし、日照不足や多雨などの天候不順が長く続いたり、また特に高温期にはブラウンパッチ、ピシウム病、斑点病などが発生しやすくなるので注意が必要です。

栽培ごよみ



季節(月)	冬		春			夏			秋			冬	
管理	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
生育 サイクル	----- 休眠期 -----		===== 生長期間 =====										----- 休眠期 -----
草刈り	← (月1~2回) ~~~~~ (月3~4回) ~~~~~ (月1~2回) ~~~~~ → (生育旺盛期)												
肥料やり			芝生用化成肥料 (20~30g/㎡)			芝生用化成肥料 (20~30g/㎡)			P・K分多い化成肥料 (30g/㎡)				
目土入れ エアレーション	春の施肥時に1回目 秋の施肥時に2回目 目土入れの前に春か秋に1回												
除 草 病害虫防除	← 越冬前雑草防除 ~~~~~ 適宜抜き取り ~~~~~ → ←----- 多発期、適宜防除 -----> 越冬病害予防 →												

春

雪どけ後、地面が乾く4月下旬ごろから芝生の手入れを始めます。
6月初旬までにはエアレーションや目土入れなどを済ませましょう。

<春の手入れ>

長い間芝生を管理していると、根が絡み合ったり踏み固めなどにより土が固まって、芝生全体の勢いがなくなり弱ってきます。このような状態を改善するため、芝生に無数の穴をあけて土中に空気を供給し、根を活性化させるエアレーションを行います。

また、芝生表面のでこぼこを直したり、老化した芝の健康回復のために目土を入れましょう。

5月中旬から6月上旬にかけての芝刈りは、10cm以上伸ばさないように6~7cm伸びたら刈り込むようにします。



夏

西洋芝は6月に入ると生育の最盛期を迎えます。芝刈りや施肥など通常の手入れのほか、下旬ごろからはエッジ刈りや除草、病害虫防除などの作業を行います。

6月の刈り高は3cmくらいとし、高温乾燥が続く7~8月中旬ごろまでは刈り高をやや高めの4cmくらいにします。肥料は肥え焼けに注意して少なめに与え、施肥後は必ず水やりをしましょう。夏は肥料より水やりが大切なので時間をかけて根にしみるまで水を与えます。



<エッジ刈り>

芝生の周縁部、敷石や庭木の周りなどは芝刈り機が入りにくく、芝が伸び放題になりがちです。このはみ出した芝を芝生用バリカンや専用カッターを使って取り除く手入れをエッジ刈りといい、芝生を美しく保つための重要な作業です。



<除草>

クローバーやタンポポなどの雑草は芝生的美観を損ねるだけでなく、芝が雑草に負けてしまうことがあるので、早めに抜き取りましょう。

<病害虫防除>

高温多湿が続くと病害虫が発生しやすくなるので注意が必要です。

秋

翌年も美しい芝生を維持するために、刈り込みと落ち葉やゴミの清掃などの基本的作業に注意を払います。

<刈り込み>

9月中までの刈り高は3cm程度に維持します。

芝が伸びたままだと蒸れたり、翌春にだらしのない感じになったりします。また越冬に必要な養分を葉に蓄えておく必要があるため、10月中旬に高刈り(3.5~4cm程度)します。

花壇沿いなど、縁の部分もハサミやバリカンなどを使い、丁寧に刈り込みを行います。

芝生の上の落ち葉が残ったままにしておくと、虫や細菌の温床になり、病害の被害を受けやすくなるほか、翌春の芝生の乾きが悪くなり、芽出しも悪くなります。ですから落ち葉はくま手などでこまめに取り除き、積雪前には落ち葉が残らないように注意しましょう。



芝生の部分枯れ補修

北国の厳しい冬を積雪下で越してきた芝生は、雪解けとともに緑の新葉が萌え始め、日ごとに鮮やかさが増してきます。

しかし、表面の部分枯れはせっかくの美しい緑を台なしにしています。

部分枯れの原因は、①踏圧による被害、②施肥による肥料焼け、③雑草進入による生育の衰え、④犬猫のふん尿による被害、⑤病虫害による被害などが考えられます。



補修の作業手順

時期：5月～9月（7月下旬～8月上旬の高温期は避けます）

枯れの状態が軽い場合：部分的にタネをまき足す

- ① 枯れた部分にローンスパイクでびっしり穴をあけ、土を耕し、枯れた芝草などは取り除きます。
- ② 培養土か目土に芝生のタネを混ぜて、厚さ1.5cmくらいにまきます。



枯れの状態が重い場合：タネまきか、芝生を張り替えます。

特に早春の芝生の枯れは、雪腐れ病など病気による枯れが目立ちます。病気の場合、土壌感染が心配されるので、床土を深さ15cmくらいそっくり入れ替えてから作業を行いましょう。

- ① 枯れた部分の芝をはぎ、長方形のブロック状に切り取れるように、あらかじめ芝面に石灰などで角形に印を付けます。



- ② 印にそってスコップの刃先で切り目を入れて枯れた芝生をはぎ取り、床土も深さ10～15cmくらいに掘り上げます。
- ③ 地ごしらえをします

枯れの原因が病気の場合

掘り上げた土は使いません。培養土にピートモス、石灰、肥料を混ぜた土をつめて地ごしらえをして、足でしっかり踏み固めて整地します。この時、後で土が沈むので周囲より2cmほど高くしておくことが大切です。

病気以外が枯れの原因の場合

掘り上げた土を細かく砕き、石ころや雑草の根を抜いてからピートモス、石灰、肥料をよく混ぜて前述と同様の作業を行います。

補修の方法

タネまき（枯れた部分が広範囲な場合など）

- タネは周囲の芝と同じものを均一にまき、土をかけずに軽くレーキをかけ、板切れでしっかり押しつけます。
- ケンタッキーブルーグラスの場合では10～14日ほどで発芽するので、まき床の乾燥に注意し、発芽後は雑草をこまめに抜いて養生します。覆土する場合は1～2mm程度にとどめます。



張り芝（枯れた部分が小面積の場合など）

- 芝は市販のものか、芝生の片隅の目立たない部分をスコップなどで厚さ5cmにはぎ取り、裏面の土を平らにして同じ形に切ったものをはめ込みます。
- 少し盛り上がるくらいにしておき、上からしっかり板切れで押しつけ、水やりして養生します。



緑の相談

【豊平公園緑のセンター】

豊平区豊平5条13丁目

■開館時間

午前8時45分から午後5時15分まで

■休館日

毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
12月29日から翌年1月3日まで

緑の相談

●相談日・時間

休館日を除く毎日
午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

☎(011) 811-9370

みどりの図書

午前8時45分から午後5時15分まで

【平岡樹芸センター】

清田区平岡4条3丁目1-1

■開園時間

午前8時45分から午後5時15分まで

■休園日

毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
11月4日から翌年4月28日まで

緑の相談

●相談日・時間

開園期間中の毎週水、木、土、日曜日
午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

☎(011) 883-2891

みどりの図書

午前8時45分から午後5時15分まで

【百合が原緑のセンター】

北区百合が原公園210番地

■開館時間

午前8時45分から午後5時15分まで

■休館日

毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
12月29日から翌年1月3日まで

緑の相談

●相談日・時間

毎週水、木、土、日曜日
午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

☎(011) 772-3511

みどりの図書

午前8時45分から午後5時15分まで

■温室観覧料

大人(高校生以上) 130円
中学生以下・65歳以上 無 料
(敬老手帳などをご提示ください)

【麻生緑の相談室】

北区北39条西5丁目(麻生総合センター内)

緑の相談

●相談日・時間

12月29日から翌年1月3日を除く
毎週火、水、金、土曜日(これらの曜日が祝日の場合は、木曜日が代替相談日)
午前10時から午後4時まで
(正午から午後1時まで休み)

☎(011) 757-1003

みどりの図書

午前10時00分から午後4時00分まで

ご存じですか

札幌市グリーンデータバンク

グリーンデータバンクは、引っ越しや増改築などのため、家庭で育てることができなくなったり不要になった樹木などの植物を登録していただき、受け取りを希望する方にこの植物を紹介する制度です。

もしも、身近にこんな植物があったら……。ぜひ、この制度をご利用ください。かけがえのない大切な緑と花を有効に活用し、緑の街づくりに役立てましょう。

↓ 植物を提供される方は.....

・提供の対象となる植物の条件

- ① 庭木または庭植の草花類(球根、宿根草)で、鉢物や一年草は対象外です。
- ② 植物の提供は無償です。
- ③ 庭木の場合、庭木として十分利用可能なもの。
- ④ 移植が容易にできるもの。

・所定の「提供申込書」に記入の上、豊平公園緑のセンターへお申し込みください(郵送可)。

・植物の名前は正確にご記入ください。名称が不明確な場合は写真やサンプルなどを添えて申し込み時によく説明してください。

・植物には移植適期などがありますので、斡旋期間に十分余裕を持たせてください。



↓ 受け取り希望の方は.....

・提供植物のリストが豊平公園緑のセンター、百合が原緑のセンター、平岡樹芸センターに掲示してありますので所定の「受取希望申込書」に記入して、豊平公園緑のセンターへ直接お越しの上、お申し込みください。



- ・同一植物に対する希望が多い場合は、申し込み先着順となります。
- ・移植に伴う労力や費用などは受け取られる方の負担となります。
- ・植物の受け取り後は結果報告をお願いしております。

グリーンデータバンクに対するお問い合わせ・お申し込みは
豊平公園緑のセンター TEL 811-6568

受付:同センター開館日(左ページ参照)の午前9時から午後4時まで

札幌市都市緑化基金

緑あふれる街づくりのため

札幌市都市緑化基金の募金に

ご協力をお願いします

都市の緑は、私たちの生活に四季折々の季節感や心のゆとり、やすらぎ、うるおいなど、かけがえのない充足感を与えてくれます。

札幌市は、道路、公園などの公共施設の緑化をはじめ、市民の方々の協力を得ながら地域の緑化に努めて、現在、全国でも屈指の緑豊かな街になりつつあります。

しかし、街全体が緑と花と木陰に包まれた「ゆとりとうるおいのある街」を実現するためには、公園などの公共施設の緑だけではなく、個人の住宅や事業所の周辺など民有地の緑化が不可欠です。

札幌市都市緑化基金は、市民の皆様から寄附をいただいたお金を積み立て、その果実(利子)で民有地の緑化を進めていこうとするものです。

私たちの街札幌を次代の市民に誇れるより緑豊かな魅力ある街にするため、「札幌市都市緑化基金」の積み立てに市民の皆様の暖かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

都市緑化基金はこのような事業を実施しています



記念樹プレゼント

市民を対象に、結婚、出産、新築などの人生の節目を記念する慶事に対して、ライラック、ツツジ、ウメなど10種類ほどの中から希望の苗木をプレゼントしています。

応募は往復はがきで。返信用はがきが引換券となります。

「広報さっぽろ」などでお知らせします。

ツタ苗の補助

対象：市内の住宅、事業所等の壁面、法面など。

補助数：植え込み予定の50%(最大15本まで)

申し込み：春秋の年2回。「広報さっぽろ」でお知らせします。



ツタ緑化モデル施設

(ツタによる緑化推進の模範となるような市内の家庭、事業所を平成5年10月にモデル指定しました)



小西信義邸／中央区南の森3条11丁目



穀物屋／豊平区中の島1条9丁目



中野診療所／東区北13条東16丁目



株式会社濱野建村店／中央区北3条東5丁目



ヴァンローゼ／中央区北3条西2丁目



札幌競馬場／中央区北20条西15丁目



六花亭製菓真駒内店／南区真駒内上町3丁目

フラワーポットの貸し出し

対象：市内の町内会、自治会、商店街などの民間団体

規格：70cm×24cm×20cm

期間：3年間継続

申し込み：年1回春のみ

「広報さっぽろ」などでお知らせします。

その他：貸し出しの初年度のみ、培養土と花苗を1ポットあたり5株提供します。



その他の事業



コンテナツリーの設置



フラワースタンドの設置



緑化の講習会



緑化手引き書の発行



緑の絵コンクール



緑と花のフォトコンテスト



緑化パネルの展示

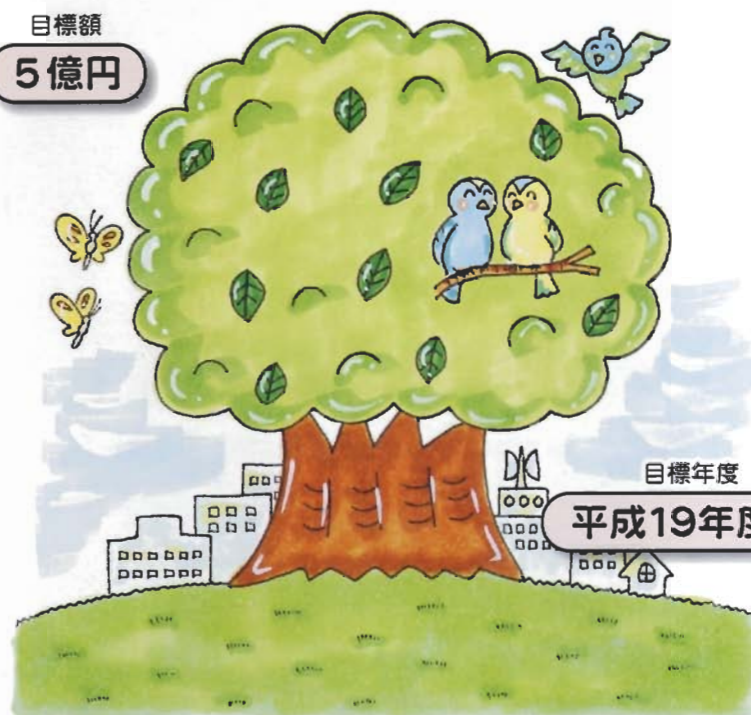


緑化イベントへの協力

都市緑化基金の募金にご協力を

目標額

5億円



目標年度

平成19年度末

この冊子も基金の果実で作成しています。



基金に関するお問い合わせは

札幌市環境局緑化推進部緑の保全課

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館6階

電話 011-211-2532

財団法人札幌市公園緑化協会

〒060-0051 札幌市中央区南1条東2丁目 南1条タカハタビル2階

電話 011-211-2579